

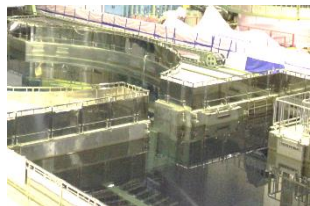
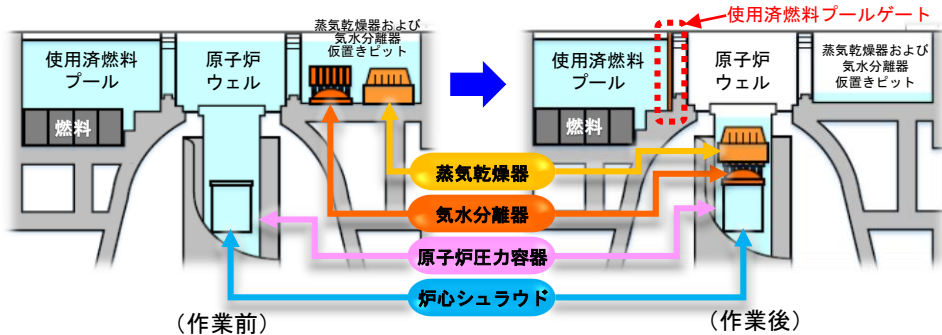
# 福島第二原子力発電所からのお知らせ（平成27年9月号）

福島第二原子力発電所1～4号機は、安定した燃料の冷却を継続しています。発電所の最新状況や、様々な取り組みをお知らせします。

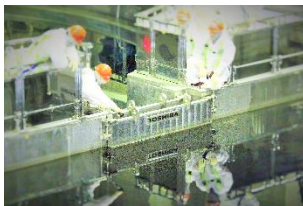
## 3号機で使用済燃料プールゲートを閉じる作業等を実施しています

- 当所では、全号機の原子炉内の燃料について、設備の維持管理の簡素化の観点から、使用済燃料プールへ移動し一括管理しています。
- 3号機については、本年3月24日にすべての燃料移動が完了し、現在、燃料は使用済燃料プールにおいて安定して冷却、保管しています。
- 原子炉内からの燃料移動が完了したことから、9月14日に使用済燃料プールと原子炉ウェル間のゲートを閉じ、通常の使用済燃料プールの状態に移行する作業を実施しています。蒸気乾燥器と気水分離器については、9月17日までに原子炉内に移動しており、今後、これらの機器を仮置きしていたピットと、原子炉ウェルの水を抜く作業を進めていきます。
- 今後、1、2、4号機についても、同様な作業を順次行っていく予定です。

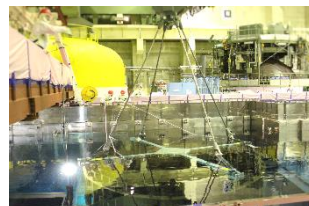
<3号機使用済燃料プールゲート閉止および水抜き作業（イメージ図）>



使用済燃料プールゲート閉止作業前



使用済燃料プールゲート閉止作業完了

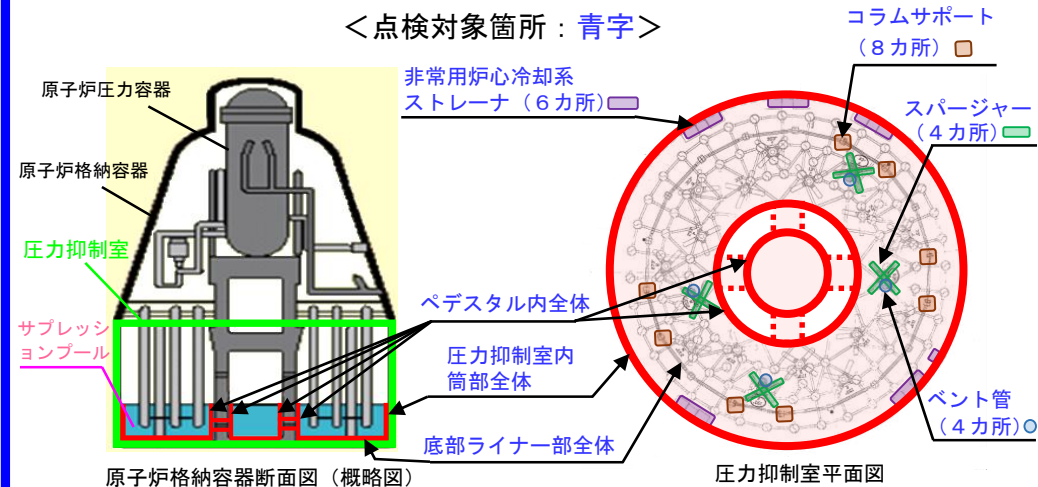


気水分離器の水中移動

## 1号機で圧力抑制室内の点検を実施しています

- 当所1号機は、圧力抑制室内の内面および構造物について、潜水作業による目視点検を8月26日より開始しています（平成27年8月25日お知らせ済み）。
- 点検では、直径約26m、水深約7mのサプレッションプール内の床面等をダイバーが目視で確認し、その作業状況はモニターの映像でも確認しています。また、点検完了は10月上旬を予定していますが、これまでに水中から照明用スイッチのカバーの一部等を発見、回収しました。この異物による圧力抑制室の機能や設備への影響はないことを確認しています。
- なお、過去に圧力抑制室内で実施した機器点検作業の際に、サプレッションプール水中に落下した可能性があったLEDハンディライト（2013年11月6日お知らせ済み）について、今回の点検で発見、回収しています。

<点検対象箇所：青字>



右の写真は、回収した照明用スイッチのカバーの一部（長さ約11cm、幅約7cm）



右の写真は、回収したLEDハンディライト（長さ約40cm）



## 福島第一廃炉作業の後方支援

### <消波ブロック編>

- 当所は、福島第一廃炉作業の後方支援拠点の役割も担っており、その一環として、津波で被害を受けた福島第一の防波堤の補修に使用する消波ブロック（1個あたり約8t、計151個）を製作し、保管しています。
- クレーン等を使用して重量物を扱う作業のため、作業内容や手順について関係者と十分な打ち合わせや検討を行い、現場においても周囲の安全をよく確認し細心の注意を払ったうえで慎重に進めました。製作した消波ブロックは、福島第一の受入準備が整い次第、順次トレーラーにて陸上運搬し、防波堤の補修箇所に据え付ける予定です。
- 福島第二は、引き続き安定した燃料の冷却を継続していくとともに、福島第一の廃炉作業が着実に進められるよう、支援活動を進めていきます。



型枠へのコンクリート流し込み



型枠はずし



製作した消波ブロック

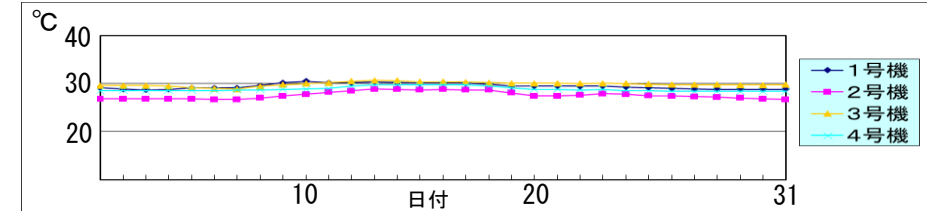


被害を受けた福島第一の防波堤

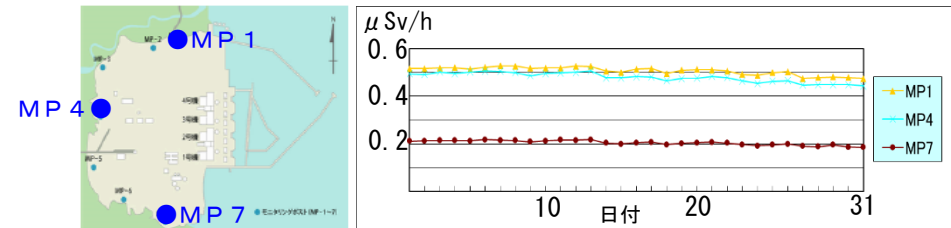
## 燃料の冷却状況（8月分）

使用済燃料プール水の温度は、30℃程度で安定して推移しており、燃料の冷却を維持しています。

【使用済燃料プール水温度】



## モニタリングポスト（MP）の計測状況（8月分）



計測地点 設置しているMP7基のうち、3基を代表で記載しています。

さらに詳しい情報は当所ホームページをご覧ください。 <QRコード>  
<URL> <http://www.tepco.co.jp/nu/f2-np/index-j.html>



## 1号機主排気ダクト接続配管からの空気の漏えいに関する原因と対策についてとりまとめました

- 本年7月27日、1号機主排気ダクトに接続している配管に穴があり、建屋内の空気が漏えいしていることを確認しました（平成27年7月28日お知らせ済み）。
- 調査の結果、当該配管を覆っていた保温材シール部が劣化して剥がれたことにより、内部に雨水が浸入し湿潤環境が長期化したことで腐食が進展し、穴があき空気の漏えいに至ったものと推定しました。
- 漏えいした当該配管については、新品の配管に交換するとともに、配管接続部についても、当て板溶接を行う等の対策を実施しました。



補修前の状況



補修後の状況

詳しい調査結果や対策（平成27年9月10日お知らせ済み）については、当所ホームページをご覧ください。

<URL>[http://www.tepco.co.jp/nu/f2-np/press\\_f2/2015/pdfdata/j150910a-j.pdf](http://www.tepco.co.jp/nu/f2-np/press_f2/2015/pdfdata/j150910a-j.pdf)